

1月13日(金)現在

本県の新型コロナウイルスの感染状況は国評価レベル3(医療負荷増大期)です

「医療ひっ迫防止対策強化宣言」を発出します

実施期間:1月13日(金)~2月10日(金)

一人ひとりが**感染しない・させない**取組【**自助**】と
みんなで拡げない取組【**共助**】を徹底するようお願いいたします

新型コロナの1週間の新規感染者数は、**爆発的に急拡大**しており、病床の利用率も80%を超えた状況が続いています。

コロナ受入病院におけるコロナ入院者や救急搬送困難事案の件数は昨夏の第7波の最高値を上回り、本県の**医療提供体制はひっ迫が非常に強まっており、コロナ診療ばかりでなく、通常診療にも影響がでつつあります。**

県内の医療提供体制が崩壊しないために、「**医療ひっ迫防止対策強化宣言**」を発出します。

県民・事業者の皆様には、以下のご協力を求めます。

1月12日現在

入院患者数 A	病床数 B	病床利用率 A/B
1,034人	1,255床 ^{※1}	82.4%
	770床 ^{※2}	134.3%

※1 即応病床数(コロナ確保病床以外の病床数を含む)

※2 コロナ確保病床数

直近1週間の10万人当たり 新規陽性者数
1387.0人

「医療ひっ迫防止対策強化宣言」における皆様へのお願い

(詳細は2枚目・3枚目をご覧ください)

① ワクチンの接種

新型コロナだけでなく、インフルエンザの患者も徐々に増加し、年末には2年9か月ぶりにインフルエンザの流行期に入りました。感染及び重症化を予防するため、ワクチン接種が可能な方は、**新型コロナとインフルエンザのワクチンの接種**をお願いします。

② 医療ひっ迫時の受診等

事前に市販の解熱鎮痛剤、風邪薬、コロナ検査キットを家庭に常備し、症状が軽く重症化リスクの低い方は、**医療機関の受診を控え、自己検査をし、陽性の場合は登録し、自宅での療養**をお願いします。また、自宅療養に備えて**食べ物や飲み物の備蓄**もお願いします。

③ 感染リスクの高い外出・行動の控え

年齢や重症化リスクの有無にかかわらず、**混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出は極力控え**、外出する場合であっても、大人数での行動や密集した場所・換気の悪い場所での飲食や大声での会話など**感染拡大につながる行動は控える**ようお願いします。

特に、ご自身で「自分は重症化リスクがある」と判断されている方、重症化リスクがある人と接する機会のある方、仕事や家庭の事情でできる限り感染を避けたい方、発熱やのどの痛み等の自覚症状のある方は、**外出について、より慎重に判断**するようお願いします。

④ 会話や食事の際の適切なマスク着用

マスクを外しての会話や食事は同居する家族とのみ行っただき、家族以外の方とは、必ずマスク着用で会話し、会食はできるだけ少人数、短時間とし、**大人数での会食は、必要性を十分に検討の上、やむを得ず行う場合は、感染防止に細心の注意を払う**ようお願いします。

⑤ 十分な換気の実施

感染力の強いオミクロン株に対して、換気は大変重要で効果が期待されます。冬場は暖房器具の使用のため、窓を閉め切りがちになりますが、**室内温度に留意しながら、定期的に窓を開け換気を行う**ようお願いします。

県民の皆様へのお願い 【自助の取組】

○オミクロン株対応2価ワクチンの接種

- ・現在実施中のオミクロン株対応2価ワクチンの接種は、オミクロン株に対し、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果とともに、感染予防効果や発症予防効果も期待されています。
- ・重症化リスクのある人と接する方、旅行やイベントに参加する方は、ワクチン接種を積極的に検討してください。
- ・なお、県の大規模接種会場(もくせい会館等)でも、オミクロン株対応2価ワクチンの接種を実施していますので、ぜひご利用ください。

県の大規模接種会場の情報はこちら



○医療ひっ迫時の受診等

- ・緊急に診療が必要となる救急医療が滞ることがないように、夜間・休日は、軽いかぜ症状だけの場合は、受診を控え、平日の日中にかかりつけ医など地域の医療機関を受診してください。
- ・症状が軽く、重症化リスクの低い方は、医療機関の受診を控え、自己検査をし、陽性の場合には、自己検査・療養受付センターに登録し、そのまま療養してください。また、自宅療養に備えて食べ物や飲み物の備蓄もお願いします。。

○マスクの着用の徹底

- ・飲食の際にはマスクを外しての会話は同居する家族のみの場合とし、それ以外の方とは食べる時は会話をせず、会話する時は、必ず不織布マスクを着用するようお願いします。
- ・大人数での会食は、必要性を十分に検討の上、やむを得ず行う場合は、感染防止に細心の注意を払うようお願いします。
- ・飲食を伴わない場合でも、大人数、長時間の会話では、お互いに不織布マスクの着用を徹底し、こまめな換気を行ってください。



○旅行や移動の際の注意

- ・旅行や移動の際は、混雑した場所や換気の悪い場所、大勢の人が密集する場所など感染リスクの高い場所への外出は極力控えるようお願いします。
- ・ご自身で「自分は重症化リスクがある」と判断されている方、重症化リスクがある人と接する機会のある方、仕事や家庭の事情でできる限り感染を避けたい方、発熱やのどの痛み等の自覚症状のある方は、外出について、より慎重に判断するようお願いします。
- ・外出する場合は、マスク着用や手指消毒、室内換気を徹底するとともに、大人数での行動や密集した場所・換気の悪い場所での飲食や大声での会話など感染拡大につながる行動は控えるようお願いします。
- ・旅行などでは、普段生活を共にしていない方と接する機会が多くなりますので、事前の検査やワクチン接種を行ってから外出するようお願いします。特に、重症化リスクの高い人がいる場所を訪問する際には、慎重な行動をお願いします。



○イベント(催事)への参加の際の注意

- ・イベント(催事)に参加する場合は、マスクの着用を徹底するとともに、事前に検査やワクチン接種を行ってから参加するようお願いします。また、発熱やのどの痛み等の自覚症状のある方は参加を取りやめるようお願いします。
- ・大勢の人が密集したり、大声をあげるイベントへの参加は、特に慎重に判断してください。



事業者の皆様等へのお願い 【共助の取組】

○事業所(飲食店や集客施設を含む)における取組

- ・事業者の皆様は、職場や店舗等における基本的な感染防止対策の徹底、特に**定期的な換気**、**飛沫防止対策**、**消毒を徹底**するようお願いいたします。
- ・事業所内では、「**居場所の切り替わり**」での**感染防止対策**や、テレワーク、リモート会議、時差通勤など、人との接触を低減する取組などを一層推進してください。
- ・**飲食などマスクを外す場面を伴う場所**では、座席間隔の確保やパーティションの設置など密を回避し、十分な換気を行うなど、**念入りに感染防止対策を行う**ようお願いいたします。
- ・医療機関のひっ迫を回避するために、従業員が発熱等で休暇を取得する際に、新型コロナ又はインフルエンザの**検査結果を証明する書類や診断書を求めない**でください。また、従業員が職場復帰する際に**検査の陰性証明や治癒証明を求めない**ようお願いいたします。
- ・感染拡大に伴う欠勤者の増加を前提とした業務継続体制の確保や一時的に業務が実施できない場合の対応の検討を進めてください。



○学校等における取組

- ・学校や保育所等では、マスクの着用、こまめな換気など基本的な感染防止対策の徹底、感染リスクの高い行動の回避に努めてください。
- ・職員や児童・生徒等に何らかの風邪症状がある場合については、部活動や課外活動も休み、市販薬(咳どめ・解熱剤等)を服薬するなど、自宅で静養してください。

○福祉施設等での取組

- ・福祉施設等の事業者の皆様は、県から配布された抗原定性簡易キットを活用して週に2度の定期検査を行い、陽性者の早期発見にご協力願います。

○イベント(催事)における留意事項

- ・イベント(催事)の主催者の皆様は、**3密の回避**、**こまめな換気**や**消毒**など基本的な感染防止対策の徹底とともに、**参加者の行動管理**に努めてください。
- ・**参加者に対して、マスクの着用や手指消毒、感染リスクの高い行動への注意を促す**とともに、**発熱者等の入場禁止**に努めてください。
- ・参加人員 5,000 人超かつ収容率 50%超のイベントを開催する場合は、県に具体的な感染防止策を記載した「感染防止安全計画」を提出してください。

全国の直近 1 週間 10 万人当たり
新規陽性者数 (1月12日現在)

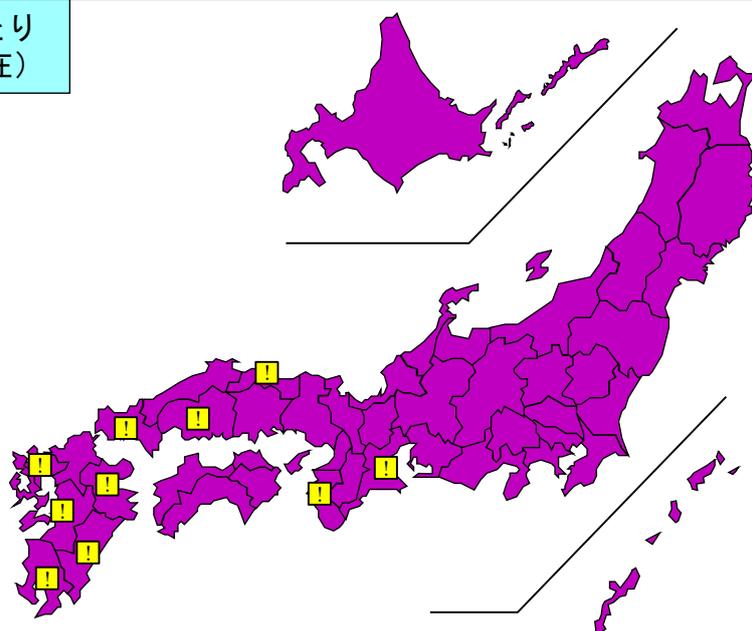
【凡例】
感染状況(10万人当たり新規陽性者数)

- 100人以上
- 35人以上～100人未満
- 7.5人以上～35人未満
- 7.5人未満

🚨 感染状況に注意

感染拡大により移動制限等の措置が
発出されている地域

- 緊急事態宣言
- まん延防止等重点措置



※ 🚨 は、10万人当り新規陽性者数が全国平均より
1.5倍以上の都道府県

次回発表予定 令和5年1月20日(金)

※上記発表前でも必要に応じて随時発表する場合があります

「医療ひっ迫防止対策強化宣言」の発出について

○ 強化宣言による主な対策

		現行	宣言発出後（案）
県の取組	医療提供体制の確保等	【入院関係】 ・コロナ病床の入院対象は原則中等症以上 ・入院中等の陽性判明は自院で療養継続 ・診療科病棟でクラスターが発生した場合も可能な限り患者受入継続 等	・感染症法に基づく協力要請 ・自院入院中に陽性判明した患者は可能な限り一般病床・自院で療養を継続 ・コロナ病床の入院対象者は中等症以上や基礎疾患等の重い患者とすること 等
		【外来関係】 ・発熱外来以外の医療機関でも発熱患者診療 ・どの医療機関でもかかりつけ患者以外の患者も診療 ・日曜・祝日等の診療体制拡充 等	・左記の内容に加え以下を依頼 ・（発熱患者の診療人数の少ない医療機関に対し）診療時間の延長やかかりつけ患者以外の患者を診療 ・症状が軽快しない患者に対する治療の継続
		【その他】 ・自己検査・療養受付センターの設置 等	・市町に継続的な自己検査用のキットの配布を依頼
県民への呼びかけ	ワクチン接種	・コロナとインフルエンザのワクチン接種	同左 ※県大規模接種会場では、予約なし接種再開済（1/6～）
	適切な受診	・市販の解熱鎮痛剤・風邪薬・検査キット・食料の常備、症状が軽い低リスク者は受診せず自宅療養	左記に加え ・症状が軽く重症化リスクが低い場合、受診を控え自宅で療養。自己検査し陽性時は、自己検査・療養受付センターに登録
	外出・移動	（全ての人） ・混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出時は慎重に行動	（全ての人） ・混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出は極力控える
		（重症化リスクのある人、体調不良者等） ・感染リスクが高い場所への外出は控える	（重症化リスクのある人、体調不良者等） ・外出についてより慎重に判断
	会食	・できるだけ少人数・短時間とする	左記に加え ・やむを得ず大人数で会食する場合は感染防止に細心の注意を払う
イベント	・大勢の人が密集するイベント等への参加は、特に慎重に判断	同左	
事業者等への呼びかけ	イベント	・3密の回避、こまめな換気、消毒等の基本的な感染防止対策の徹底 ・参加者の行動管理	左記に加え ・感染リスクの高い行動への注意促進 ・発熱者等の入場禁止
	事業所	・3密の回避、こまめな換気、消毒等の基本的な感染防止対策の徹底	左記に加え ・テレワーク、リモート会議等の推進 ・多数の欠勤者を前提とした業務継続体制の確保、一時的に業務が実施できない場合の対応の検討